

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(747)1241
担当部課名	環境事業部	麻溝台収集事務所	管理	係
事務事業名	ごみ収集車両維持管理費		事業コード	21220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	リサイクル型社会の構築	~63 年度
施策名	第2施策	廃棄物の適正処理の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

廃棄物の処理及び清掃に関する条例 道路運送車両法

3 事業概要

(1) 事業の目的 一般ごみの収集に使用する塵芥車の安全で効率的な運行を確保する。 環境面においては、省エネルギー等環境に配慮し、使用燃料の節減を図ることを目的とする。		(2) 対象(誰、何) 麻溝台収集事務所の収集区域内市民 対象数 約320,000人	
(3) 平成13年度事業の内容 ・計画的、効率的な予算執行を行い、環境面においては、次の点を重点に実行する。 1 低公害車(LPG車)の積極的な導入、運行による有害排出ガスの削減。 2 省エネルギー行動(不要なアイドリング、急発進・急加速の禁止、こまめな点検・整備の実施)による総事業費の抑制。 ・総事業費 35,535千円 需用費 30,872千円 (燃料費 12,597千円) 役務費 2,922千円 公課費 1,738千円		(4) 総合計画・実施計画における概要 なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	LPG車の導入、運行によるNox排出削減量	LPG車の導入及び省エネルギー行動による軽油燃料使用量の削減量
指標式	前年のNox排出量-当該Nox排出量 (単位:g)	前年の軽油燃料使用量 - 当該年の軽油燃料使用量 [単位:ℓ]
指標設定の意図	ディーゼル車からLPG車への切替によるNox排出量を対前年比較する	ディーゼル車からLPG車への切替及び省エネルギー行動による軽油燃料使用量を対前年比較する

5 目標と実績

[金額単位:千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	4,544.6	0.0	a 18,936.0	b 18,000.0	37,000.0	
指標	2,809.0	-585.0	c 15,968.0	d 12,000.0	31,000.0	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	34,092	35,817	35,535	37,448	39,114
	人員・時間数	(1人)	(1人)	(1人)	(1人)	(1人)
	人件費	8,420	8,420	8,420	8,420	8,420
	その他経費					
	合計	42,512	44,237	43,955	45,868	47,534
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか							
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 119.1%					
	B : 一部達成していない(100%> 80%)						
	C : 達成していない (80%>)						
a	18,936.0	$\times 100 = 105.2\%$	c	15,968.0	$\times 100 = 133.1\%$	e	$\times 100 =$
b	18,000.0		d	12,000.0		f	
理由 :	平成14年度以降も、更新車両については積極的にLPG車の導入を図るとともに環境配慮行動を行い、塵芥車の効率的な運行をおこなう。						
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か							
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	低公害車の積極的な導入は、環境への悪影響を低減するうえで、有効である。				
	B : 一部適応していない						
	C : 適応していない						
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か							
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	当事務所の近郊にLPGの補給施設がないため、LPG車の導入により収集効率が悪くなり、遠隔地での燃料補給のため、走行距離が長くなる。				
	B : 一部妥当でない						
	C : 妥当でない						
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か							
評価 C ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	戸別収集、早朝・夜間収集を視野にいれた、収集業務の民間委託化が今後の検討課題である。				
	B : 代替の可能性低い						
	C : 代替の可能性高い						
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか							
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	環境配慮行動を行いながら、安全で効率的な塵芥車の運行を行っている。				
	B : 一部満足できない						
	C : 満足できない						
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か							
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	環境に配慮し、安全で効率的な塵芥車の運行は有効である。				
	B : 一部有効である						
	C : 有効でない						

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : コスト、効率性との兼ね合いになるが、環境に配慮する為には、今後も塵芥車の更新に際し、低公害車の導入は有効である。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : LPG車はディーゼル車よりも燃費は悪く、車両価格も高価である。環境に配慮するためには、経費の増加が見込まれる。</p>

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	<p>本事業は、ごみ収集に欠かせないものであり、今後も継続する必要がある。環境配慮行動としては、南部地区にLPGの補給施設を誘致する等の策を講じ、LPG車運行の効率化を図りながら、塵芥車の低公害化を積極的に進める必要がある。</p>
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了	説明	

8 二次評価における変更点

--